

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回8月の「てがたん」は8月14日(土)で、「手賀沼の魚を調べる」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは8月7日(土)です。よろしくお願いいたします。

7月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→水生植物園→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2010年7月10日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 38名(一般24名、子ども14名)
- 市民スタッフ 12名(石原直子、伊東茂子、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

観察記録 ー7月に観察した生き物リストー

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/クイナ科：オオバン/キジ科：キジ/ハト科：キジバト/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ(幼鳥)/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス(声)、オオヨシキリ/シジュウカラ科：シジュウカラ(幼鳥)/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ(幼鳥)/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス

【魚類】 メダカ

【両生類】 ニホンアマガエル、ウシガエル

【甲殻類】 サワガニ 【その他】 ミスジマイマイ

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：キアゲハ(幼)、クロアゲハ、カラスアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ(幼)、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、サトキマダラヒカゲ、ムラサキシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、タケカレハ(幼) シャクガ(幼)、オオミノガ(幼)、チャミノガ(幼)、マイマイガ、アオイラガ(幼)/甲虫の仲間：オジロアシナガゾウムシ、コフキゾウムシ、ハシナガゾウムシ、アオドウガネ、セマダラコガネ、マメコガネ、ヤマトタマムシ、ノコギリカミキリ、ゴマダラカミキリ、ウスバカミキリ、ヒメアカバシテントウ、オオヒラタシデムシ/バッタの仲間：ヒメギス(声)、ヤブキリ(声)、ササキリ(幼)、ウスイロササキリ(成/幼)、ショウリョウバッタ(幼)、コバナイナゴ(幼)、ツチイナゴ(成)、クルマバッタ(幼)、ヒシバッタ(成)、ハネナガヒシバッタ(成)、シバズ(声)、マダラズ(声)、キンヒバリ、(声)ヒメコオロギ(幼/成)、エンマコオロギ(幼)/カメムシの仲間：ヒメアメンボ、ナガメ、ホシハラビロカメムシ、マルカメムシ、ウズラカメムシ、クサギカメムシ、セイタカアワダチソウグンバイ、アオバハゴロモ(幼)、アミガサハゴロモ(幼虫)/ハチの仲間：ニホンミツバチキゴシジガバチ、ルリチュウレンジバチ、ハグロハバチ(幼)ヒメバチの仲間(種不明)、スズメバチの仲間(種不明)/ハエの仲間：シオヤアブ、ムシヒキアブ/カマキリの仲間：チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリ/トンボの仲間：ノシメトンボ、シオカラトンボ、ナツアカネ、コシアキトンボ、ハグロトンボ、チョウトンボ、アオイトトンボ、オニヤンマ/カゲロウの仲間：ウスバカゲロウ/クモの仲間：ナガコガネグモ、コガネグモ、シロスジショウジョウグモ、ヤマトコマチグモ、ギンメッキゴミグモ、ジョロウグモ、アズチグモ、オニグモ、サツマノミダマシ、シロカネグモの仲間(種不明)

【花】

キク科：ヒメジョオン、ノボロギク/マメ科：シロツメクサ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/ラン科：ネジバナ/ツユクサ科：ツユクサ、トキワツユクサ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/オモダカ科：オモダカ/オシロイバナ科：オシロイバナ/ドクダミ科：ドクダミ/ウマノスズクサ科：ウマノスズクサ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/ブドウ科：ヤブガラシ/サルトリイバラ科：シオデ/アジサイ科：アジサイ/モクセイ科：ネズミモチ、トウネズミモチ

7月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「虫と食べ物」でした。今までのてがたんでは、チョウと食草がよくテーマになっていましたが、今年は甲虫やカメムシなど様々な昆虫とその食草を観察しました。



今回の案内人：伊東茂子さん、古川克彌さん



1 ジャコウアゲハの幼虫
食草はウマノスズクサ



2 ナツツバキにいたゴマダラ
カミキリ



3 模型で種別に花の形を説明
してもらいました



4 センリョウは花びらがなく、
1花に雌しべ雄しべは1個



5 アミガサハゴロモの幼虫

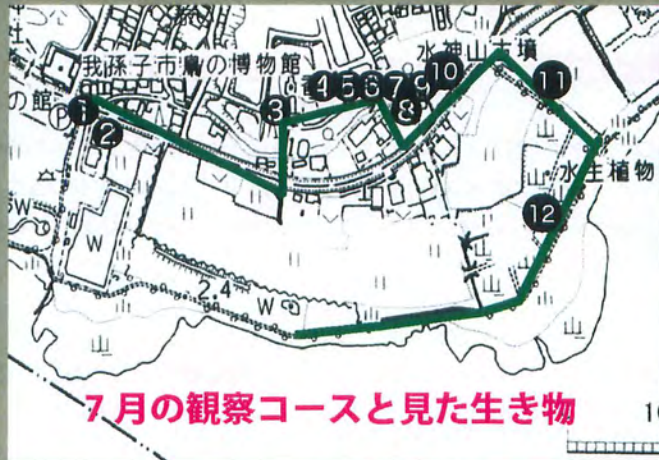


11 ハクセキレイ



ムクドリ

同じ電線に羽色が薄い幼鳥がいました。



7月の観察コースと見た生き物



6 ハゼノキの実

サツマノミダマシ

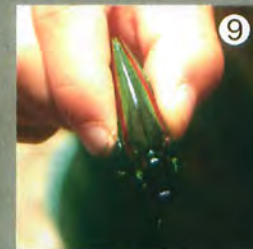
サツマノミダマシの腹部はきれいな緑色をしています。サツマノミとはハゼノキの実のことで、比べてみるとそっくりです。



12 シャクガ(種不明)の幼虫
体を直立させて茎に擬態



10 オスの腹端が白いシオヤアブ
は小型昆虫を食べる肉食性



9 ヤマトタムシを発見！成
虫の食草は主にニレ科植物



8 チョウの幼虫の食草と蛹の
説明をしてもらいました



7 ササキリの幼虫

ミツバチの目で花を見てみると...

今回のてがたんで二ホンミツバチを観察しましたが、ミツバチは餌となる蜜や花粉を集める時に、花をどのように見ているのでしょうか。

私たちヒトは約400nm~800nmの波長の光を見ることができます。色で表すと下図の紫~赤の領域です。紫よりも波長が短くなると紫外光になり、赤より長くなると、紫外光になってヒトでは見ることはできません。ミツバチが見ることができる領域は、紫外光から黄色の光なので、ヒトでは見ることはできない紫外光を見ることができます。ミツバチの眼でツユクサをみると右の写真のように見えると考えられます。

800nm

400nm

赤 橙 黄 緑 青 藍 紫 紫外光

ハチの可視光



ヒトには黄色く見える雄しべが、ミツバチには暗くはっきりと見えるのが分かります。

ツユクサの写真：市民スタッフ小泉伸夫さん提供